

患者さんへ

感染症内科では下記の臨床研究を行っています。研究概要は以下の通りです。

研究課題名

当院における抗菌薬適正使用に関する研究

目的

近年、微生物の薬剤耐性が世界的に問題となっています。これ対処すべく、我が国でも平成 28 年 4 月に厚生労働省が薬剤耐性アクションプランを発表しました。この中では、抗菌薬を適正に使用することを推進し、1 日に処方される人口あたりの抗菌薬量を 2020 年までに 2/3 に減量することが数値目標として掲げられました。

これをうけて当院において処方される抗菌薬がどの程度適正かを調査し、その結果を今後の抗菌薬適正使用の推進に役立てることが研究の目的です。

対象

2016 年 6 月 1 日～2018 年 5 月 31 日に当院入院中に抗菌薬を処方された方

方法

抗菌薬の処方内容や処方理由、検査などについて、当院研究担当医師が電子カルテを用いて調査を行います。得られた情報は匿名化して解析を行い、学会発表や論文として公表します。

研究期間

2016 年 6 月 1 日から 2018 年 5 月 31 日

研究機関の長：横浜市立市民病院 病院長 石原淳

研究責任者：感染症内科 吉村幸浩

相談窓口：横浜市立市民病院 感染症内科 電話 045-331-1961（病院代表）

この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書および研究方法に関する資料）を入手・閲覧することができますので、ご希望の際は研究責任者へお申し出ください。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、研究責任者へ申し出いただきますようお願いいたします。